

# わたしたちの村 美郷



美郷村社会科副読本編集委員会

T3





# 第三学年

工場のあるところ……………	20	中央美化センター……………	35
(2) 製茶工場をたずねて……………	21	(4) ごみ集めのうつりかわり……………	36
1 工場のようなす……………	21	【しりょう】水どくらし……………	37
2 お茶づくり……………	21	二 火事をふせぐ……………	38
3 げんりようと製品のゆくえ……………	23	(1) 地いきの防火しせつ……………	38
4 お茶づくりのくふう……………	23	1 さいきんの火事……………	38
【しりょう】そのほかの工場……………	24	(2) 美郷村の防火しせつ……………	39
六 村の人々のくらしのうつりかわり……………	25	(2) 消防しよの見学……………	40
(1) 学校のむかしと今……………	25	1 消防しよのしくみ……………	40
1 学校でのむかしさがし……………	25	2 消防しよのしごと……………	41
2 むかしの学校……………	25	3 消防しよのねがい……………	41
3 今の学校……………	26	4 近くの町や村との協力……………	41
4 年表づくり……………	27	(3) 学校の防火しせつ調べ……………	42
(2) かわつてきた村の人々のくらし……………	30	1 火事をふせぐしせつ……………	42
1 村でのむかしさがし……………	30	2 防火しせつのはいち……………	42
2 村にのこるむかしの道具……………	30	三 ぐらしを高めるねがい……………	43
3 村のうつりかわりの年表……………	31	(1) むかしの人の開発……………	43
第四学年		1 道路の開発……………	43
一 わたしたちのくらしとごみ……………	33	2 国営パイロット事業……………	45
(1) ごみのゆくえ……………	33	【しりょう】……………	47
(2) ごみのりょうのうつりかわり……………	34		



美郷村中央公民館

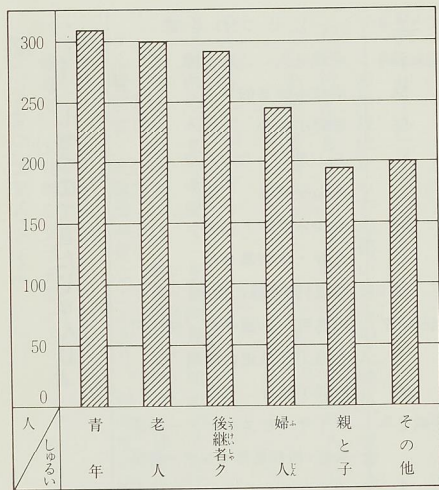
美郷村には、中央公民館と学校区ごとに、地いきの公民館があります。中央公民館は、役場の横にあり、多くの人に利用されています。

一 ぐらしをよくする

(1) ぐらしをよくするしせつ

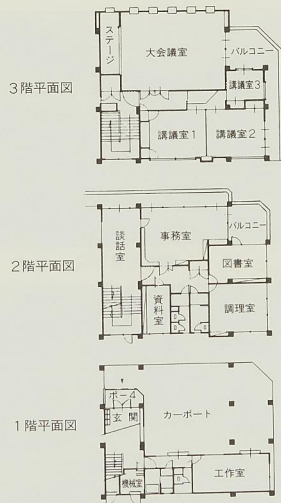
1 わたしたちの公民館

公民館は、村の人々のぐらしを高めるために、つくられています。

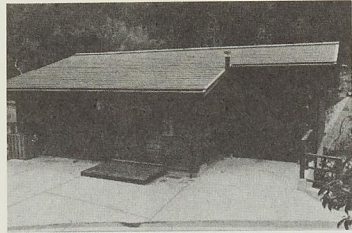


ある年の公民館を会場として利用した人々

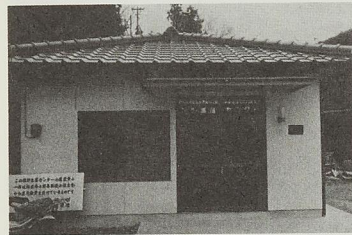
2 公民館を利用する人々



美郷村中央公民館の配置図



上谷集会所



種野集落センター



老人いこいの家

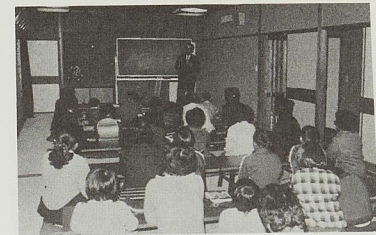


村営住宅

2 そのほかのしせつ



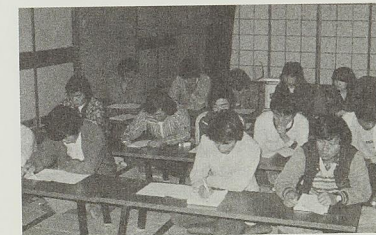
高れい者学級



親子読書会



料理講習会



青年学級

○ふるさとセンター  
 村内の人々の希望で、多目的集会所が出来ます。  
 三階建ての建物には、事務室、会議室、体育室、ホ  
 タル資料室、民族資料室などがあり、四年度の完成が  
 またれています。  
 健康で、文化的な生活を高めるうえで、たいへん役  
 立つことでしょう。

○デイサービスセンター  
 この施設はからだの弱い老人のために、食事や入浴  
 などのサービスをして、本人やその家族の人たちのく  
 らしを助けるはたらきをしています。



ヘルスランド美郷



デイサービスセンター

できた年	しせつの名前	できた年	しせつの名前
昭和31年	天神地区かんい水道	昭和53年	中枝老人いこいの家
35	有線放送	54	中枝小体育館
36	役場新築	55	種野小校舎
37	川俣地区かんい水道		三山老人いこいの家
38	平地区かんい水道		東山小校舎
39	中村・東山地区診療所	57	ヘルスランド美郷
40	種野地区かんい水道		上谷・中村集会所
43	国営パイロット事業	58	国道193号線の改良
44~46	美郷中校舎・体育館・寄宿舎	46~59	川島町・木屋平村・神山町 を結ぶ3県道の開通
46	消防しょ	60	中枝小校舎
48	中央公民館	平成2年	デイサービスセンター新築
49	中村小校舎		東部・西部集落センター新築
50	中村集会所	3	ふるさとセンター着工
52	東山老人いこいの家		

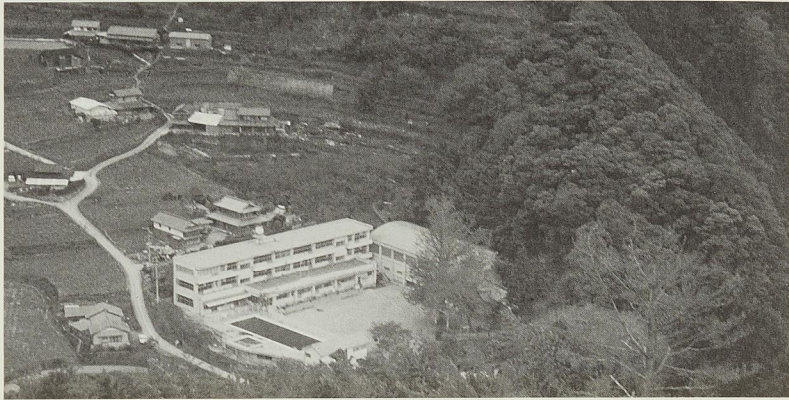
(美郷のあゆみ 役場しらべ)

(2) しせつができるまで  
 1 しせつのできたじゅんじょ

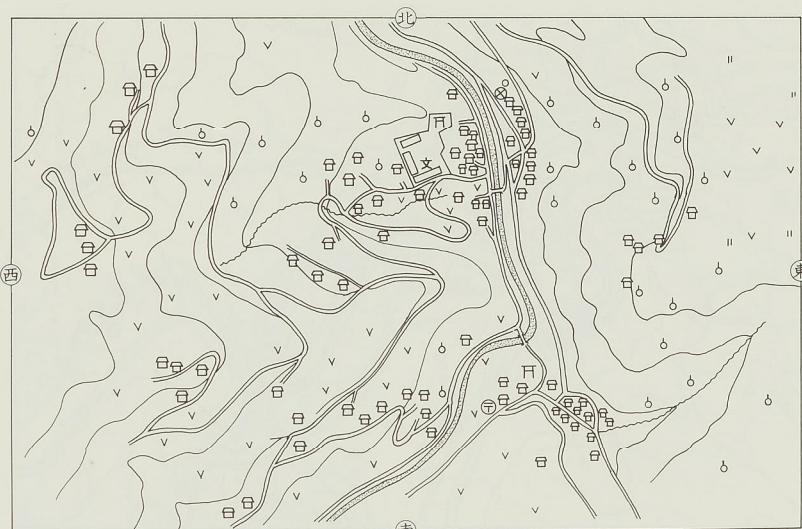
## 二 わたしたちの村

(I) 校区たんけん

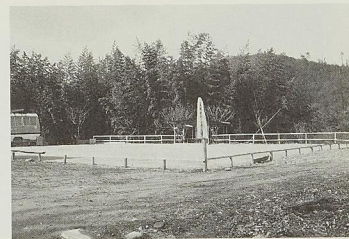
### 1 中枝小学校のまわり



山の上から見たようす



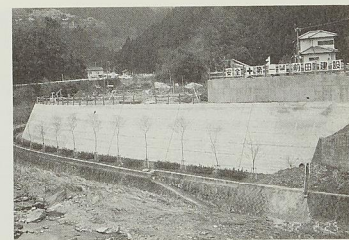
- ③ わたしたちのねがい  
美郷村は「住みよい村づくり」をめざして、つぎのことに力を入れています。
- ① 住みよい村づくりのために
- ・ 道路をよくし、安全しせつをつくる。
  - ・ ごみやしにようしよりの仕方をよくする。
  - ・ 水道のせつびをととのえる。
  - ・ 地すべりやさい害の対さくにつとめる。
- ② 村民のくらしを高めるために
- ・ 農林業をさかんにする。
  - ・ 働く場所をふやす。
  - ・ 老人や困っている人のくらしを助ける。
  - ・ 人々の健康を守ったり、いこいの場をふやす。
  - ・ 心のゆたかな人づくりのために
- ③ 学校の建物やせつびをととのえ、りっぱな人をそだてる。
- ・ 大人の勉強をふやし、人と人の心のつながりを深める。



ゲートボール場



ゲートボール場



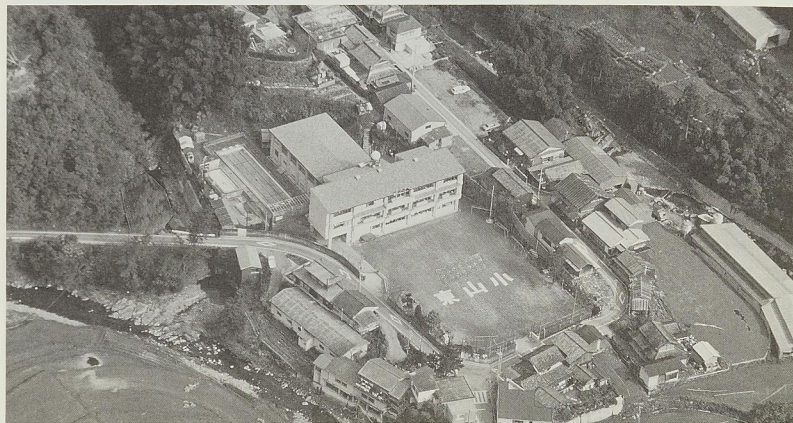
美郷ふるさとセンター建設現場



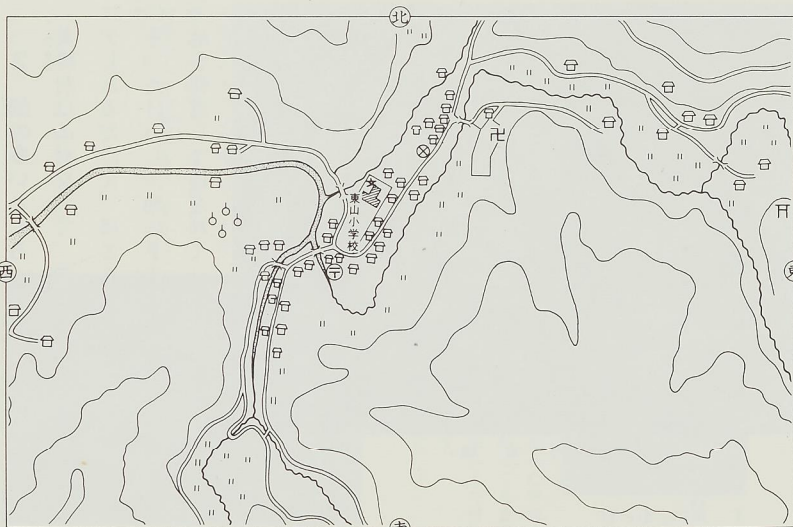
道路工事

・ 図書館や運動ができるせつびをととのえる。

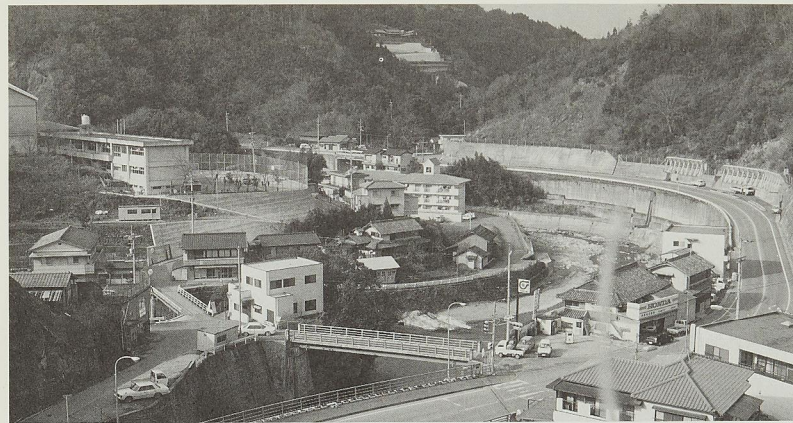
3 東山小学校のまわり



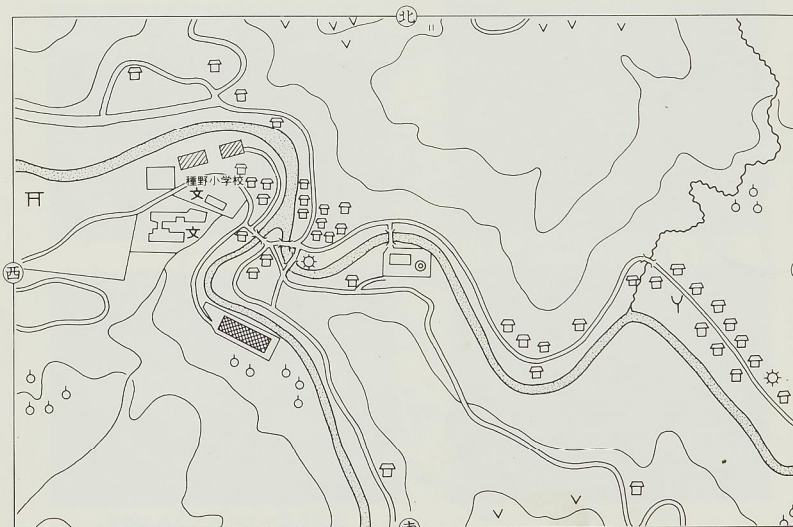
空から見たようす



2 種野小学校のまわり



山の上から見たようす



(2) 村内のいろいろなところ

1 店の多いところ

○川俣ふきん



このあたりは、東山と中枝・中村からの道がまじわっているので川俣という地名がついています。この道にそって、店がたくさん集まっています。また、学校、役場、農きょう、消防しょ、商工会などもあります。

○平・宮倉ふきん

旧中枝村の中心で、昔から、山川駅と宮倉の間を定期バスが走っていました。宮倉は、神山方面と中村方面への分かれるところとなっていて、平と同じように、店が集まっています。

○天神ふきん

ここは、東山の中心で、学校やゆうびんきょくなどがあり、昔から店が集まっています。

2 畑の多いところ

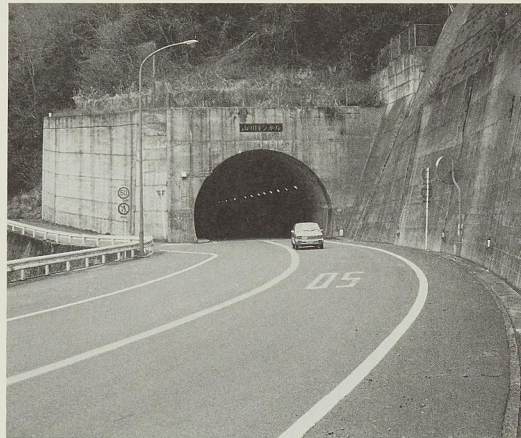
美郷村は山村なので、田は少なく、東山と種野に少しあるだけで、ほとんどが畑です。畑は、谷にそったけいしゃ地に多く、うめや茶は、けいしや地を利用して作られています。



うめ畑

3 新しい国道

昭和五八年に開通した新しい国道一九三号線が、今は宮倉まで開通しています。この国道は、山川・海南町をむすび、工事がすすめられています。美郷村の人々は、とどのつた道路ができたので、たいへん便利になりました。



山川トンネル

4 名所



ぼろぼろの滝 ↑

美郷村宮倉バスの終点(横山)から約十キロメートルはなれた中村の西条にあります。自家用車では、滝の二百メートルのところまで行けます。滝の高さは約三十メートル、途中で二回岩にくだけて、滝は、はばをひろげて大きな滝つぼにおちています。夏のはじめや、秋のけしきがうつくしいところです。

ヘルスランド美郷

↓  
村民のけんこうづくりや、からだをやすめるためにつくられた建物です。五十人もはいる大浴場やキャンプ場、フィールド・アスレチックなどがあり、村外の人々の利用も多いそうです。





### 三 買いものと商店がい

#### (1) 買い物しらべ

1 近所の店でどんな買い物をしているか一週間の計画をたてて調べてみましょう。

2 商工会で美郷村の商店のようすや買い物についてきいてみました。

#### 商工会の人の話

○美郷村の商店は、どの店にもいろいろな品物を買って、ほとんどの店がざつか店です。それで、何を売っている店だとなかなかきめにくいのです。しかし、お客さんはいろいろな物をその店で買うことができるので便利なところもあります。

○わたしたちの村の人は、村内の店だけでなく、まわりの町でもたくさん買い物をしています。テレビやれいぞうこなどの電気せい品・家具・めがね・高級衣りょう品などは、ほかの町へ買いに人がたくさんあります。

#### (2) 近所の店のようす

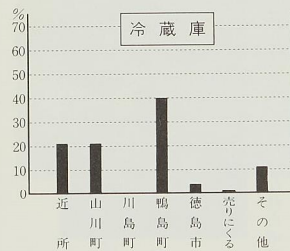
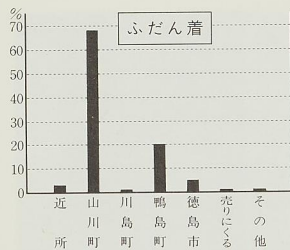
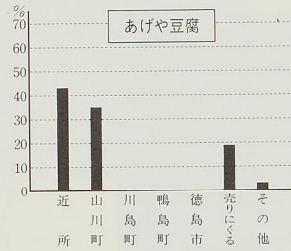
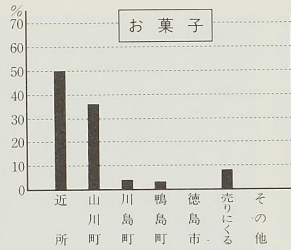
わたしたちの近所にある店のようすをしらべてみましょう。

美郷村にある店の多くは、食べ物や着る物、日用品などを売っています。また、古くからの店が



ざつか店のようす

次のグラフは、みなさんのお友達にしてもらった、買い物しらべです。どこで、どんな物を買っているかを知りたかったのです。みなさんの地いきではどうでしょうか。くらべてみましょう。



車で売りにくる

多いので、なじみになつているお客さんが多いそうです。村には、せんもん店はありませんが、毎日の生活にひつような物を売るざつか店が多いようです。

美郷村には、

買い物に行くのに、店までのきよりが、たいへん遠くて苦ろうする地いきがあります。そこへは、食料品（魚、たまご、にく、パン、おかしなど）を車にいっぱいつんで、売りにまわつて来てくれます。一週間に一回か二回、日をきめて来るので、近くの人たちが集まつてきて、何日分も買つてかえります。

(3) 買い物と交通

わたしたちの家では、近くの店で買うほか、山川町や鴨島町にあるスーパーや、徳島市にある大きな店やせんもん店などへ、自家用車で買い物に出かける人もたくさんいます。

それは、大きな町の商店では、同じ品物をたくさんそろえたり、りゅうこうの品物をきれいに、たくさんかぎつてある店があるので、自分にあつたすきなものを買うからです。



鴨島町にあるスーパー・マーケットの大きなゆうしゃ場

(4) 商工会のしごと

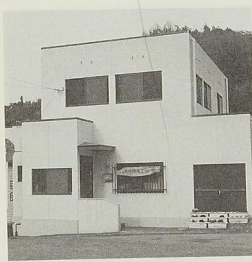
村の商業や工業にかんけいしている人たちは、力を合わせて商工会をつくっています。商工会では、村の商業や工業が、もつとさかんになるよう、いろいろなしごとをしています。

○品物のならべかた、店のかざりつけなどの勉強会をする。

○店をおしたり、品物をし入れたりするためのお金をかりる手だすけをする。

○ちようぼのつけ方や、ぜい金のそうだんをうける。

○商工業について、ちようさをする。



美郷村商工会

○商工会のなやみ  
人口がへったことや若い人がすくなくなつたこと、また、近くの町に、スーパーができたこともなやみになっています。

四 農家のしごと

(I) うめのつくられているところ

1 うめ畑の多いところ

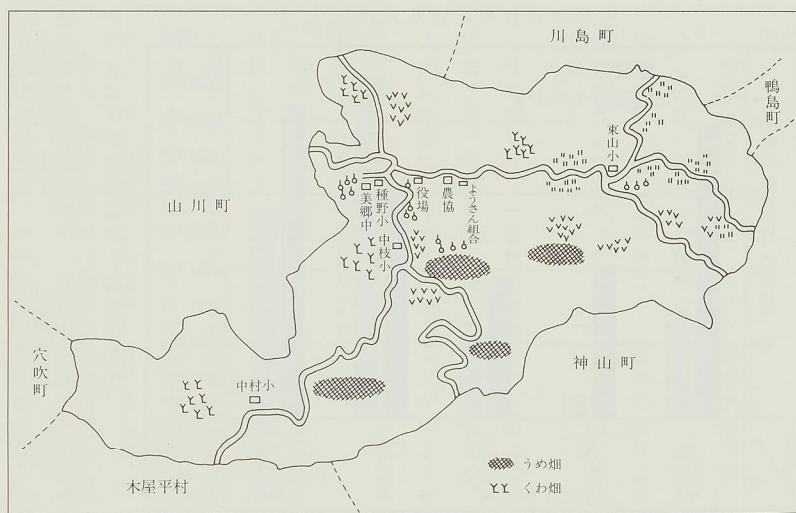
わたしたちの村では、パイロット事業によって昭和四五年ごろから、うめをつくる農家がふえてきました。



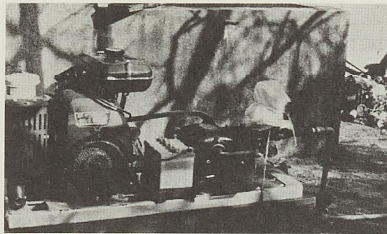
うめの木のようす

村では、土地や気こうにあつた作物で、しゅう入のよいうめづくりを、農家の人にすすめました。

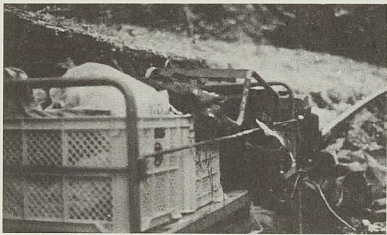
そのあと、うめ畑の面積もじゅんちようにふえ、平成二年には美郷村全体で、およそ四〇〇トンのうめがとれました。



(平成3年・役場しらべ)



害中の防除設備

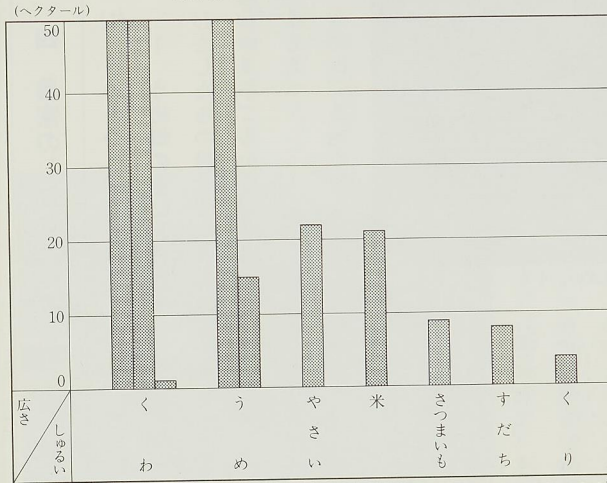


モノレール

別枝山にある藤田さんの家には、いろいろは道具や、ひりょうを入れてある小屋や害虫の防除設備などがありました。防除液は、パイプを通して、ポンプでうめ畑まで送ります。また、しゅうかくしたうめを運ぶためのモノレールがあり、うめ畑から荷づくりの場所まで通じています。できるだけ人の力を使わない工夫がみられます。

## (2) うめづくりの農家をたずねて 1 農家のようす

農作物をつくっている田や畑の広さ

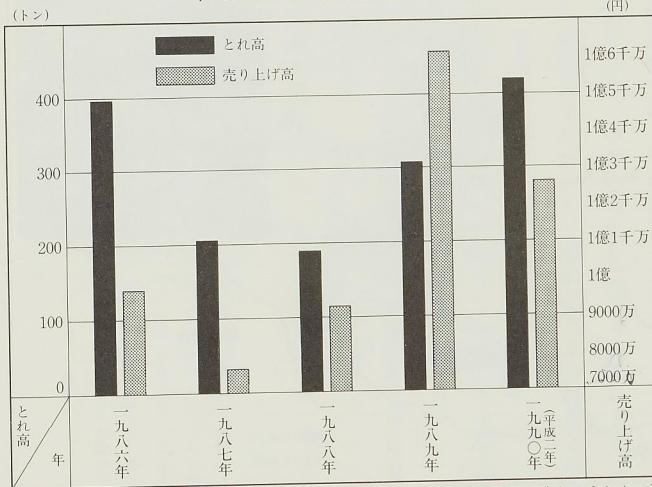


(平成元～2年・県農林水産統計年報による)

## 2 村のうめづくり

村の農家でつくっている作物のおもなものは、つぎのグラフのとおりです。うめ畑は、広さでは、くわ畑について二ばんめです。

うめのとれ高と売り上げ高



(平成3年・農きょうしらべ)

うめのとれ高は、一年ごとに多くなったり、少なくなったりしており、その年の気こうに大きくえいきょうされることわかります。

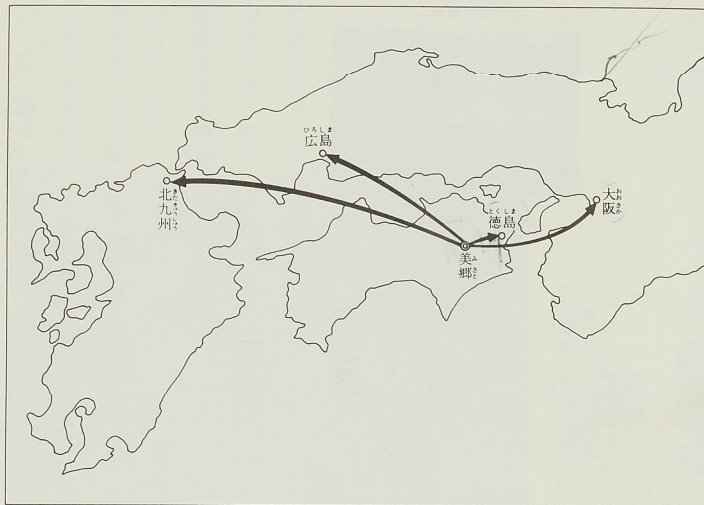
## 農家のおじさんの話

うめをつくる前は、スグチなどを作っていました。すが、気こうがあわないせいか、あまり取れませんでした。そこで、しゅう入もよく、美郷の気こうにあったうめづくりをはじめました。

うめづくりで一番気を使うのは、木につく害虫です。害虫を殺すほどの農薬を使うと、人間にも害になるので、使うことができません。だから、害虫をおい出すくらいの農薬を、何度もまかなければなりません。

実のとり入れがはじまると、新せんのまま出荷しなければいけないので、その日のうちに農きようへ送ります。うめを新せんのまま保存できる冷蔵庫ができたので市場のねだんのよい時に出荷できるようになりました。

また、梅干しなどに加工して出荷することも考えています。



(平成3年・農きょうしらべ)

(3) 1 農きょうをたずねて  
うめのゆくえ



うめのせん別



トラックでゆそう



市場のようす

けんきをうけ、せんべつされたうめは、はこづめにされてから、トラックにつみこまれて、どくしま市のほか、県外へも出荷されています。

うめづくりのしごとごよみ

しごと	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
うめづくり													
			花が開く	芽が出る	葉が開く			取り入れ、出荷					
		うめ畑のせいびをする	みつばちを放し、授粉させる		農薬をまく	ひりょうをやる	草からしをする	取り入れ、出荷をする	下草をとる	ひりょうをやる	農薬をまく	ひりょうをやる	えだのせん定をする

2 うめのつくりかた



枝のせん定



ひりょうをやる



農薬をまく



取り入れ

## 2 農きようのしごと

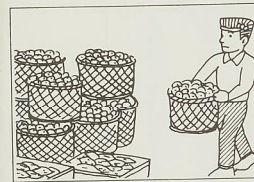
農きようでは、うめの出荷のほかに、この図のようなしごとをしています。  
農きようの組合員だけでなく、地いきの人たちのためになるしごともおこなっています。



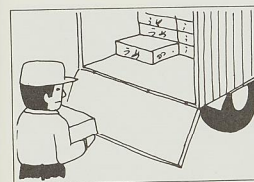
美郷村農きよう  
農きようのしごと



お金をあつかう



品物をあずかる



作物を出荷する



きかいや日用品をうる



作物の育て方を教えたり、市場のねだんをしらべたりする。

## 【しりよう】くわ畑とかいこ

くわ畑は、13ページの地図をみると、美郷村のほとんどのところにあります。広さは、およそ一〇〇ヘクタールです。

かいこは、くわの葉をたべながら、四回ねむり四回皮をぬいでそだち、たまごからかえって二十日たつと、まゆを作りはじめます。

このまゆから、きぬ糸がとれます。

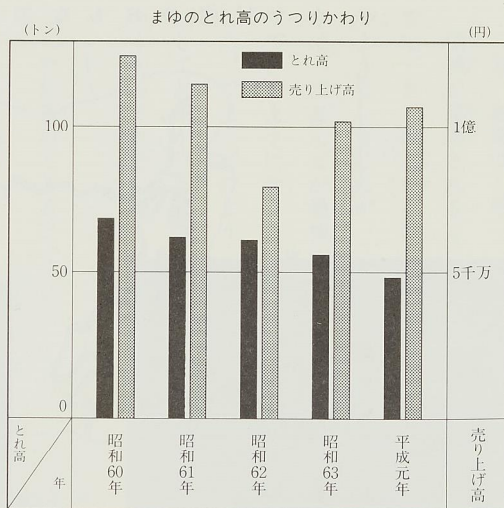
村では、養蚕組合を中心にして、かこのまゆづくりが、さかんです。



くわ畑



かいこをそだてる



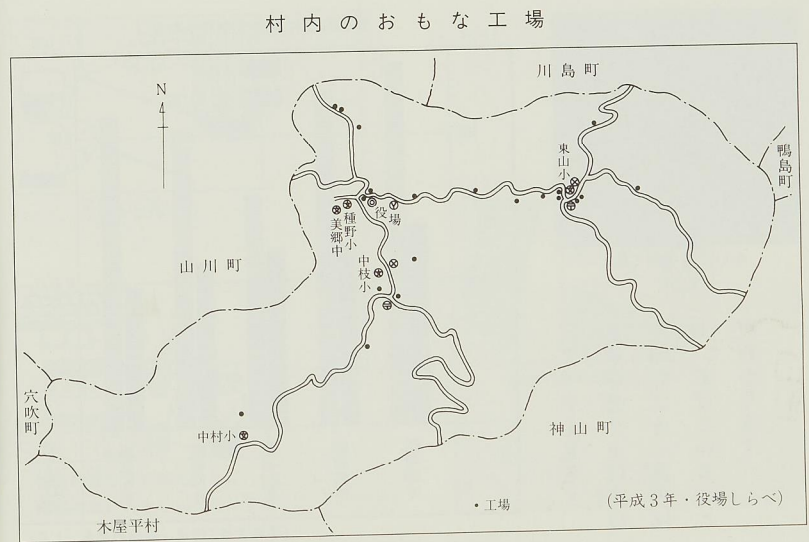
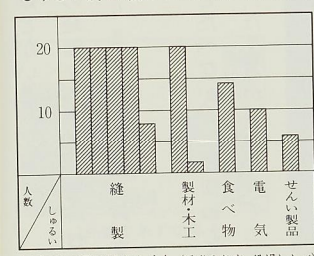
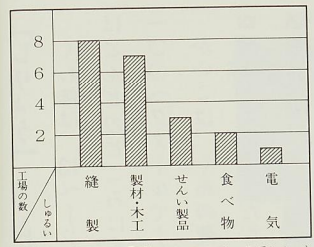
グラフを見ると、

まゆの売り上げ高は、年間およそ一億円以上、あげていることがわかります。

## 五 工場のしごと

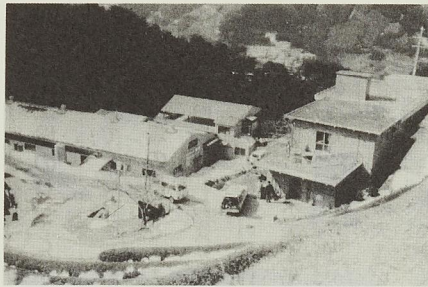
### (1) 地図で工場をさがす 1 工場のあるところ

美郷村内には、およそ二十の工場があり、約百三十人の人がはたらいています。工場の数では、縫製工場、製材・木工工場、せいの工場のじゆんに多くなっています。ほかの市町村にくらべると、機械・金ぞくなどの大きな工場はなく、ほとんどの工場が、はたらく人十人以下の小さな工場でおもに、女の人がはたらいています。



### (2) 製茶工場をたずねて 1 工場のようにす

美郷村では、お茶にあつた気候と山の斜面を利用して、茶畑が多く作られています。これらのお茶の葉を加して製品にする工場が、張というところにあります。ここには、茶畑ではたらく人とお茶を製品にするところで、はたらく人がいます。工場には、げんりようをほかんするそうこと、



製茶工場

製品をつくる機械室と、かんりどうの三つがあります。機械室には、いろいろな機械があり、どの機械も休みなく動きつづいて、人手のかからなくふうがされています。

### 2 お茶づくり

機械が開発されるまでは、多くの人手をつようしましたが、今は、ほとんどが機械でできるようになりました。では、どのようにしてお茶が作られていくかみてみましょう。

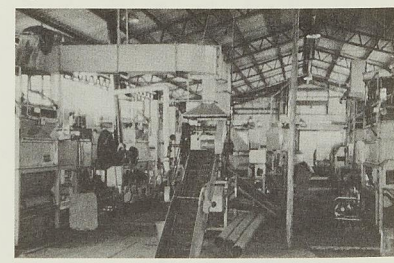
#### ○お茶のできるまで



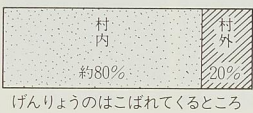
茶つみ



茶畑 (品種 やぶきた)



工場の機械室



この工場では、製品をつくるすべての作業を機械がしてくれるので、人手も少なくてすみ、一度にたくさんのお茶をつくることができます。

3 げんりょうと製品のゆえ

加工されるお茶の葉は、そのほとんどが、村内の農家や工場の茶園で作られています。また、このほかに、となりの町や村から、はこばれてくるものもあります。

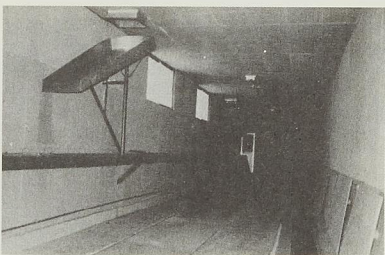
工場で作られた製品は、生産した農家や村内の家庭で使われるほか、県内や県外へも送られています。とくに、高級なお茶は、おくりものなどに使われています。

4 お茶づくりのくふう

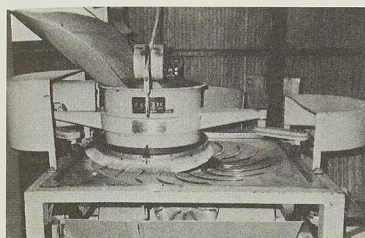
茶畑からつんできたお茶の葉を、少しでも早く加工することが、おいしいお茶をつくるためにたいせつなことです。しかし、一度にたくさん葉があつまると、そのすべてを加工することができません。そこで、この工場には、お茶の葉の品質を変えずに保存するそうこうが作られています。このため、一度にたくさん葉があつまっても、同じ品質のお茶をつくることができます。

また、いろいろな機械を使うので、機械の使いかたや調節のしかたなどを勉強して、おいしいお茶がつけられるよう努力しています。

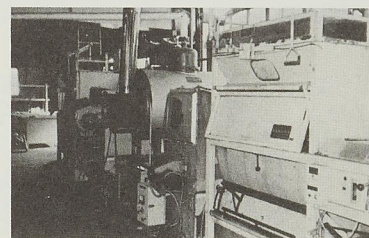
このほかにも、いろいろと研究をしているそうです。



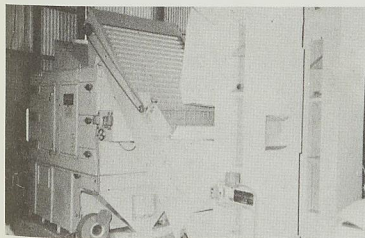
お茶の葉をいれておくそうこ



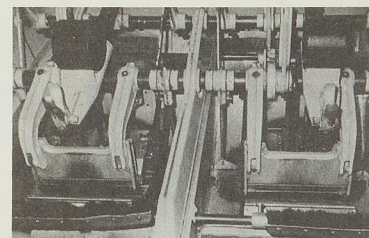
揉捻機



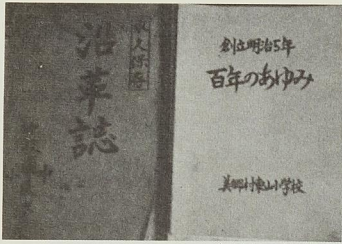
ボイラーと粗揉機



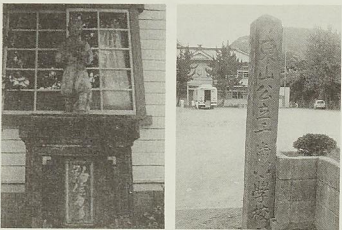
乾燥機



精揉機



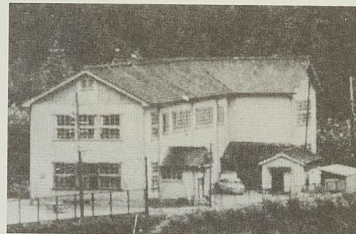
学校のあゆみがのっている記念誌・沿革誌



二宮金次郎の像 東山小学校のむかしの門柱



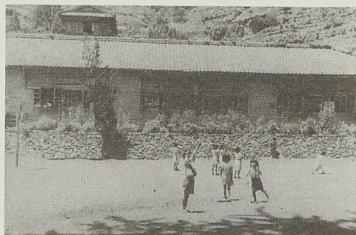
種野小学校



中村小学校



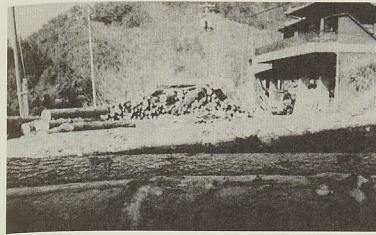
東山小学校



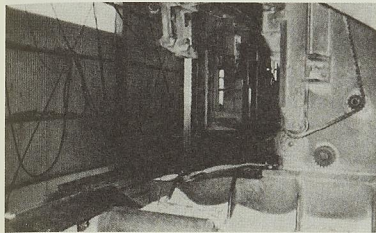
中枝小学校

(1) 学校のむかしと今  
1 学校でのむかしさがし  
美郷村には、中村小学校(平成二年休校)・中枝小学校・種野小学校・東山小学校の四つの小学校があります。どの小学校も、できてから百年以上の長いれきしを持っています。  
へむかしをつたえるもの

## 六 村の人々のくらしのうつりかわり



材木おき場



機 械 室



流れ作業で組み立てているところ



動力ミシンを使っているところ

## 【しりよう】 そのほかの工場

### 1 製材工場

村内の山には、たくさんの木が植えられています。これらの木を、けんちくぎいりようなどとして使えるようにする工場が、毛無と奥丸というところにあります。ここでは、大きな木を、使いみちに合わせて、柱や板などに行っています。  
製材された木は、トラックで、材木問屋やけんちく会社におくられています。

### 2 縫製工場

村内でもっとも多い工場の一つです。ここでは、動力ミシンを使って、パジャマを作っています。また、このほかにも、手ぶくろ、カバン、服などの縫製をしている工場があります。

### 3 部品を作る工場

この工場は、大きな会社の下うけ工場で、通信機器の部品を作っています。流れ作業ですが、こまかい作業が多いので、小さな部品一つ作るのもたいへんなことです。

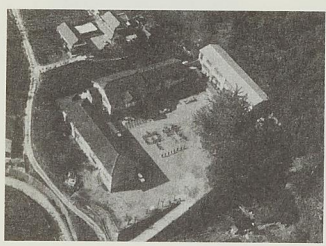
## 2 むかしの学校



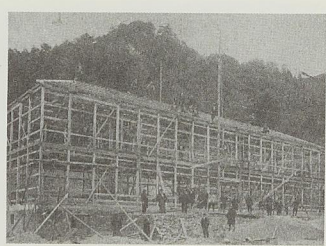
学校のうつりかわり

中枝小学校

明治	大正	昭和										平成	年号						
12	25	37	42	4	16	22	〃	32	39	45	〃	50	51	54	55	60	3	年	
百年前	八十年前	五十年前	四十年前	三十年前	二十年前	十年前	今	今から何年前										4	
〇別枝簡易小学校ができた。	〇別枝山西尋常小学校となった。	〇中枝尋常高等小学校となった。	〇今の場所に校舎をたてた。	〇校舎を増築した。	〇中枝国民学校となった。	〇中枝小学校となった。	〇校舎を増築した。	〇校旗ができた。	〇六十周年記念の行事をした。	〇ホタル養しよく場がつくられた。	〇各教室にテレビがおかれた。	〇各教室に石油ストーブがおかれた。	〇せい服ができた。	〇放送せつびが整えられた。	〇体育館ができた。	〇新しい校舎とプールができた。	〇校舎とプールができた。	〇校舎とプールができた。	4
																		できごと	
																			じどう数
三七五	二八〇			三二〇	一三三														四三 (平成三年 四月調べ)

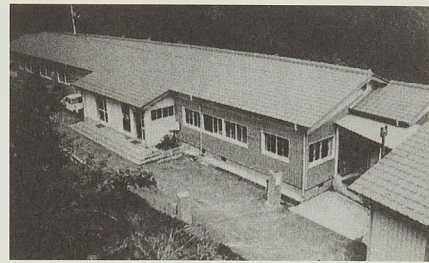


体育館ができるまでの中枝小学校

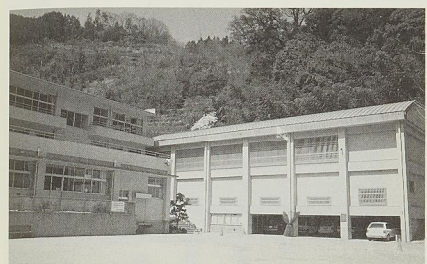


昭和4年・こう堂の南がわの校しゃのほね組み

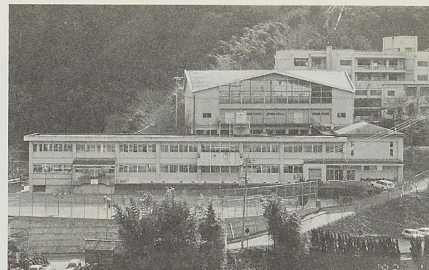
3 今の学校



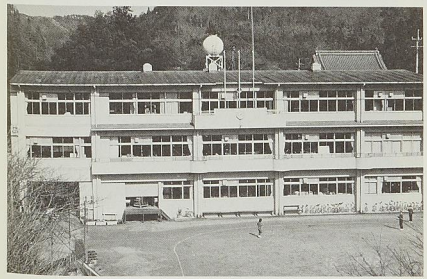
中村小学校  
(平成2年・3月休校)



中枝小学校



種野小学校



東山小学校



年号	平成	昭和
年	2 3	34 36 37 38 41 43 44 " " 45 46 50 53 55 56 " 57 58
今から何年前	今	三十年前 二十年前 十年前
で	き	と
人口	二千二百人	四千人

○国道一九三号線が宮倉まで整備され広くなった。  
○中村小学校が休校になった。  
○国道一九三号線が種野まで整備され広くなった。  
○東山小学校の新しい校舎と体育館ができた。  
○ヘルスランド美郷ができた。  
○種野小学校の新しい校舎ができた。  
○中枝小学校の体育館ができた。  
○電話がダイヤル自動化された。  
○中村小学校の新しい校舎ができた。  
○美郷中学校の校舎ができた。  
○阿北消防組合の美郷出ちよう所ができた。  
○国営パイロット事業が始まった。  
○ゲンジポタルが国指定の天然記念物となった。  
○四つの中学校を一つにして美郷中学校ができた。  
○美郷村ようざん農業協同組合ができた。  
○種野地区にかんい水道ができた。  
○平地区にかんい水道ができた。  
○川俣地区にかんい水道ができた。  
○村役場が新しく建てられた。  
○村内有線放送が始まった。

### 3 村のうつりかわりの年表



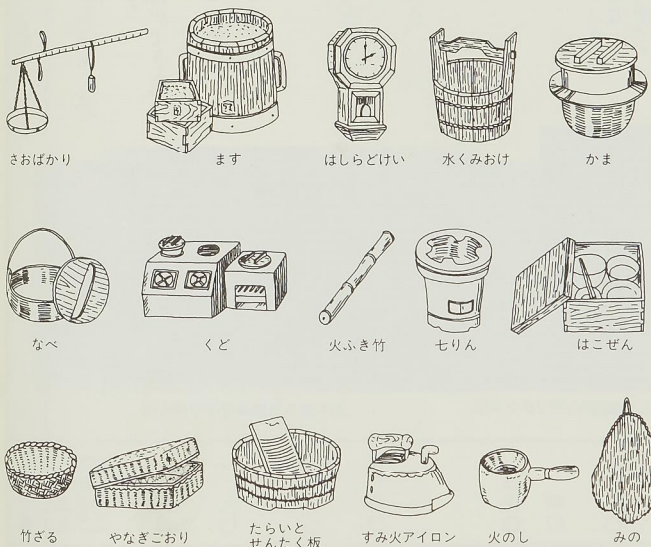
村にのこる古い家



みやくら八幡神社のやたい

(2) かわってきた村の人々の暮らし  
2 村でのむかしさがし  
学校でのむかしさがしをしてまとめた年表を見てみると、学校のようにむかしと今とでは、ずいぶんかわってきていることがわかりました。こんどは、村のむかしさがしをして、村の人々のくらしのようすが、どのようにかわってきたのか調べてみましょう。

へむかしをつたえるもの

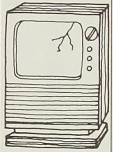




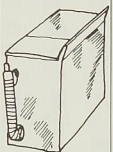












さおばかり  
ます  
はしらどけい  
水くみおけ  
かま  
なべ  
くど  
火ふき竹  
セリン  
はこぜん  
竹ざる  
やなぎごおり  
たらいとせんたく板  
すみ火アイロン  
火のし  
みの

2 村にのこるむかしの道具  
美郷村ふるさとセンターには郷土資料館があり、むかしの道具がたくさん展示されています。

# 第四学年

明 治								大 正					昭 和					年号					
5	7	12	"	14	17	22	41	1	2	5	6	"	12	4	12	18	"	22	"	30	34	年	
百二十年前								八十年前					七十年前					六十 五十 四十年前					今から何年前
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 美郷村農業協同組合ができた。</li> <li>○ 三つの村ががつべいして、新しい村、美郷村ができた。</li> <li>○ 天神地区にかんい水道ができた。</li> <li>○ 中村・中枝・種野・東山に中学校ができた。</li> <li>○ 中村山と東山地区に電灯がついた。</li> <li>○ 西部乗合自動車会社ができ、大型バスが運行するようになった。</li> <li>○ 別枝山のこりの地区に電灯がついた。</li> <li>○ 種野山・川俣・宗田・平・宮倉地区に電灯がついた。</li> <li>○ 川島と大地下をむすぶ道路ができた。</li> <li>○ 川俣と古土地をむすぶ道路ができた。</li> <li>○ 山瀬と川俣をむすぶ道路ができた。</li> <li>○ 鴨島と東山をむすぶ道路ができた。</li> <li>○ 東山鉾山に電灯がついた。</li> <li>○ 東山鉾山へ川島局から電話が開通した。</li> <li>○ 木屋平村市初と山川駅をむすぶ道路ができた。</li> <li>○ 三山・中枝・東山の三つの村ができた。</li> <li>○ けいさつ署のは出所がおかれた。</li> <li>○ 種野小学校ができた。</li> <li>○ 中村小学校ができた。</li> <li>○ 中枝小学校ができた。</li> <li>○ ゆうびん局ができた。</li> <li>○ 東山小学校ができた。</li> </ul>								七千人					八千人					七千五百人					五千二百人
で き こ と																							人
口																							

もえないごみ			もえるごみ	
大がたごみ	かんるい	ビンるい	なまごみ	紙・ぬの
				
				
				
				

みなさんの家から出されるごみは、左の図のよう  
に五つにわけられます。

一 わたしたちのくらしとごみ

(1) ごみのゆくえ

役場では、ごみの種類によって、日をきめて、  
ごみ集めをするようにしています。

集められたごみは、川島町にある中央美化セン  
ターに運んで、しよりしてもらいます。

ごみを出す場所は、きめられています。きめら  
れたふくろで、きめられた日に出さないで、近  
くにめいわくをかけることがあります。

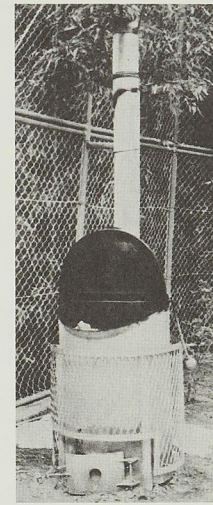
こわれたテレビやタイヤ・ビニールなどの大  
たごみは、中央美化センターでしよりできないの  
で、うめ立て地でしよりをします。

美郷村のごみ集めは、つぎのようになっていま  
す。

もやせないごみ		もやせるごみ		
かんるい	びんるい	木	火	毎週月曜
毎月1・3金曜日	毎月1・3水曜日	国道・県道えんせん	中枝	三山・東山
中枝・東山	三山・東山			

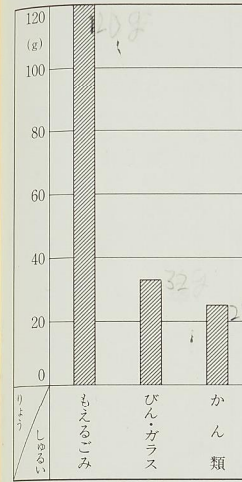
(平成3年8月 美郷村しらべ)

(2) ごみのりょうのうつりかわり  
 わたしたちの家では、紙くずなどのもやせるものは、家でもやしています。また、新聞や古びしなどは、たくさん集めて、ちりしなどごうかんにしているところもあります。



家庭でのごみやき

わたしたちの村のごみのりょうの、うつりかわりはつぎのようになっています。  
 (集めた人の数 一九三〇人)



1人1日に出すごみ  
 (平成3年8月 美郷村調べ)

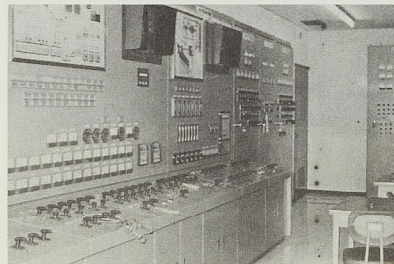
(3) 中央美化センター  
 中央美化センターのしゅうきやくろは、一日に七十トンのごみをやいて、しよりすることができます。もやせるごみが、ごみしゅうしゅう車に一ぱいつみこまれて、美化センターに来ると、大きなはかりにのり、つんできたごみのりょうをはかり、町村ごとに集計とくけいします。

ろの中は、七五〇度〜千度ぐらいになるので、温水器をつけ水を通して、お湯をわかします。このお湯でじむ室や、かいき室のたんぼうもできます。

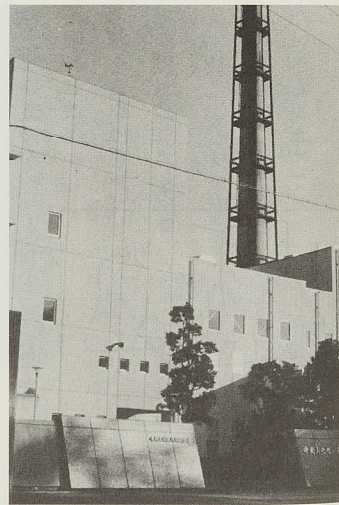
〇 もえないごみ  
 ジュースの空かんや鉄くずなどの金かねものは、おしつぶして四角いかたまりにし、別の工場へおくられて、新しい製品になります。  
 ガラスびんやとうきなどは、こなごなにくだいて、もやした後のはいやかすといっしょにうめたててしよります。



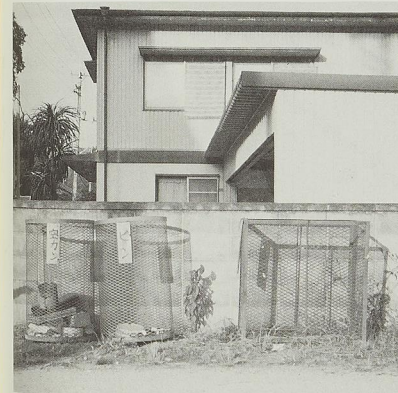
重さをはかっている



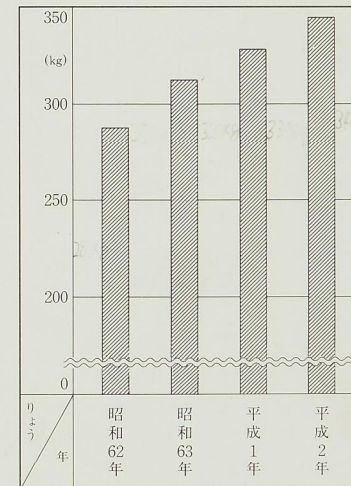
管理室 (モニターテレビをみて、そうさする)



中央美化センター正門

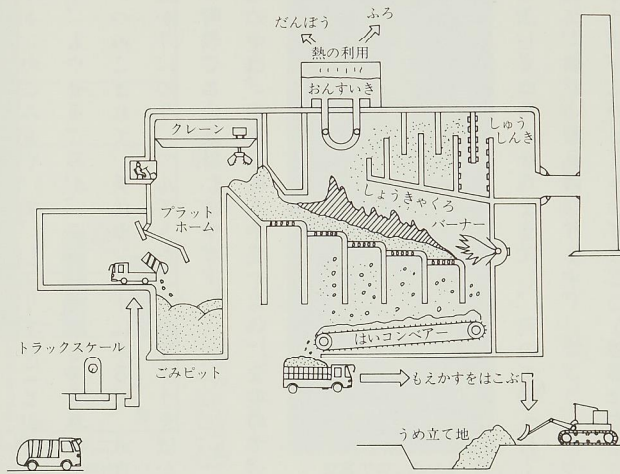


村内75か所にそなえつけられているごみ置き場



美郷村で1日にできるごみのりょうのうつりかわり  
 (平成3年 美郷村しらべ)

左の図は、中央美化センターで、ごみをやいているしくみです。



(4) ごみ集めのうつりかわり  
今から二十年ぐらい前までは、どの家でもでき

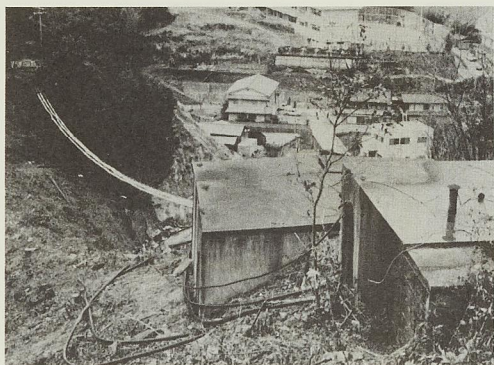
【しりょう】 水とくらし

美郷村は山や谷が多く、水をかくほすのにふんでした。水道ができるまでは、谷の水やわき水を「かけひ」やパイプで集めて、山の中ほどや山上の家に、おけてかつきあげていました。そのため大へんな苦ろうのしごどでした。

自然水の利用は時には伝せん病や、ほかの病気の原因になることが多いので、水道をつくらうという声がおこり、かんい水道がつくられました。東山村で、昭和三十年に天神地区につくられたのがさいしよです。美郷村になつてからは、今のように、川俣地区・平地区にもつくられました。現在、この水道を利用している人は、七百二十人ほどです。

ほかの地いきの人々は、それぞれ自分の家で、わき水や谷の水をひいて使っています。

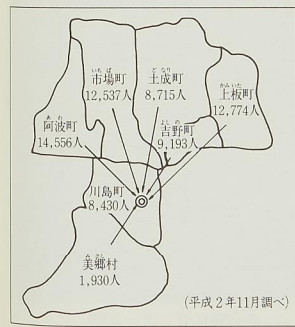
水道のれき史や利用している人数を、住民福祉課の人にきいてみると、次のようになっていました。



川俣種野かんい水道

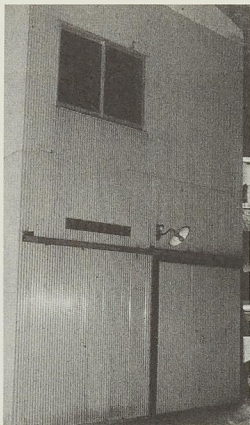
水道名	できた年	戸数	利用者
東山かんい水道	昭和三十年	40戸	43人
東山西部かんい水道	平成元年	115戸	115人
川俣種野かんい水道	昭和三七年	56戸	250人
平かんい水道	昭和三八年	36戸	158人
美郷村	平成2年	116戸	300人
川島町	平成2年	46戸	180人
吉野町	平成2年	39戸	120人

昭和五四年からごみを集めはじめ、七か町村のごみをしよりし、きれいな村や町づくりをたいへん役立っています。



たごみは、もやしたり、うめたりしていました。また、池や谷川にすてたりする人もいました。生活がゆたかになって、ごみのりようがふえて、自分の家でしよりできなくなり、村の人々から「ごみしよりのしせつがほしい」という声が生だいに高まってきました。

村役場では、かかりの人を中心にそうだんし、計画して、昭和五三年から、上板町・土成町・吉野町・市場町・阿波町・川島町といっしよに、一年四か月かかって、中央美化センターをつくりました。建設にかかったお金は、およそ十億円です。

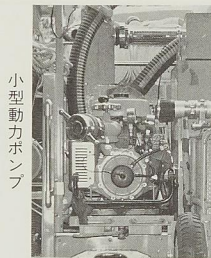


消防団かくのう庫 (第5分団)

美郷村消防団には、六つの分団があります。それぞれに、かくのうこがあり、小型動力ポンプや消火にひつような道具をしまっており、いつでも使えるように用意されています。

- ・ 防火水そう 54
- ・ 河川・用水 12
- ・ プール 3
- ・ 池 0

2 美郷村の防火のしせつ  
美郷村には、火事をふせぐための、しせつがつくってあります。それにはつぎのようなものがありました。



小型動力ポンプ



東消防しよのはしご車

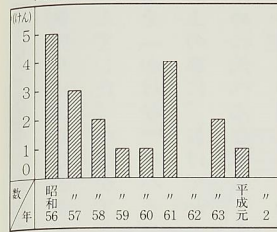


防火ふく (美郷出張しよ)



美郷出張しよのポンプ車

美郷出張しよかんないの火事



美郷出張所



美郷出張しよ司令室

この組合のかんないで、どのくらいの火事がおきたか調べてみました。また火事をおこしたげんいんや、いつごろが多いかも調べました。

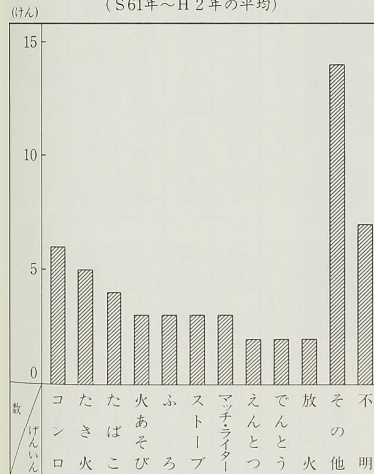
## 二 火事をふせぐ

### (1) 地いきの防火しせつ

#### 1 さいきんの火事

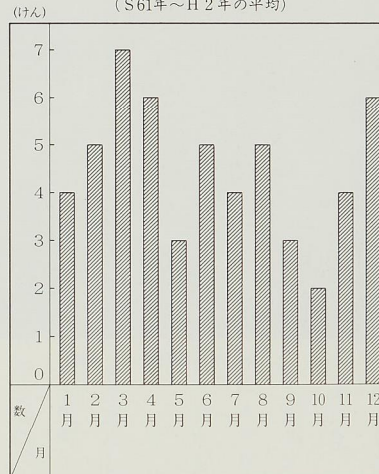
わたしたちの村は、阿北消防組合にはいつています。そして、美郷出張しよがおかれてい

阿北消防組合かんないげんいん別火さい数 (S61年~H2年の平均)



(平成3年 阿北消防組合しらべ)

阿北消防組合かんない月別火災けんすう (S61年~H2年の平均)



(平成3年 阿北消防組合しらべ)



(2) 消防しよの見学

1 消防しよのしくみ

阿北消防組合は、八つの町村でつくられていま  
す。本部と四つの消防しよ、一つの出張しよがあ  
ります。

消防しよには、せんもんに仕事をする人たちが  
いて、いつ火事が起きてても、すぐ消しに行けるよ  
うにじゅんびをしたり、火事をおこさないように  
注意をよびかけたりします。



阿北消防組合本部

2 消防しよのしごと

- ① 火事をけす
- ② 火事をふせぐ  
学校や工場・病院・住たくなどへ行って、火  
事を防ぐせつびがどどのつているか、いつでも  
使えるようになってるかを調べたり、おしえ  
てあげたりします。
- ③ 火事のときのけが人や交通事故にあった人や、  
急病人などを病院へはこんだりします。

3 消防しよのねがい

- ① 火事のおもなげんいんは、たき火のふしまつ  
や、すいじの火のつかい方がわるいことです。  
子どもの火遊びがげんいんのときもたくさんあ  
ります。

火事を出さないようにふだんから気をつけて  
ほしいと思います。

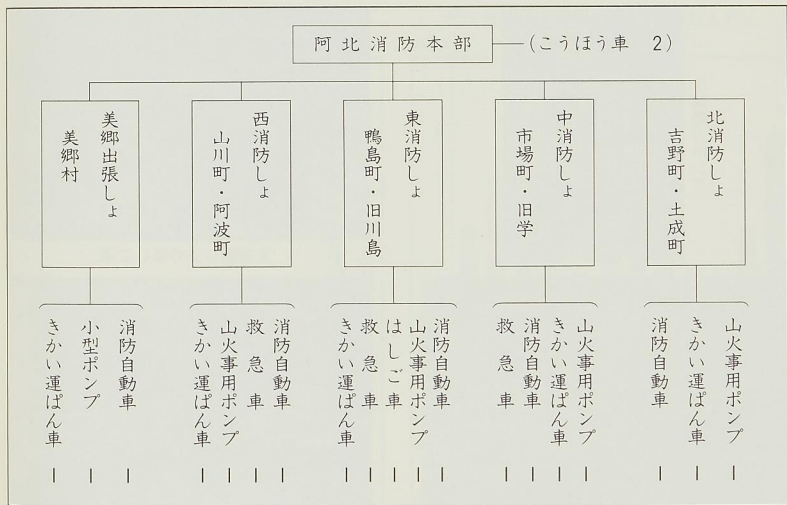
- ② もし火事がおきたとき、消防しよへの連らく  
は、おちついて、火事の場所を正しく、はつき

りどつたえましよう。

- ・ 「火事です。」
  - ・ 「ところは美郷村の〇〇です。」
  - ・ 「目じるしは、〇〇の東、〇〇メートルぐ  
らいです。」
  - ・ 「台所がもえています。」
- ③ 消防車のサイレンを聞いたたら、かならず道を  
ゆずりましよう。
- ④ たくさんの物をもやすときは、消防しよへ知  
らせておきましよう。

4 近くの町や村との協力

- ① つぎのようなときは、おうえんにかけて、  
火事を消します。
- ② 山火事など、火がだんだん大きくなるとき。  
大ぜいの人のいのがきけんなどとき。



消防しよと自動車



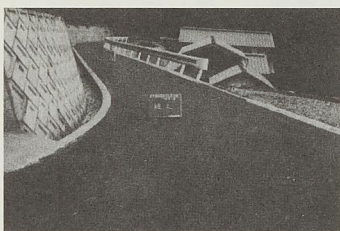
むかしの道づくり



ほそうされる前の道路 (高野-桑内線)



改修中の道路 (高野-桑内線)



完成した道路 (高野-桑内線)

むかしの道路は、せまくて急な山道が多く、しかも台風がくるごとに、しゅうりをしなければなりませんでした。人びとは、遠い山道を、に物をせおって通行していました。

長い間、苦勞していましたが、今から七十年ほ

### 三 暮らしを高めるねがい

#### (I) むかしの人の開発

##### 1 道路の開発

ど前から、人々の協力によって、道路を新しくつくったり、なおしたりすることが、さかんに行われはじめました。

高野と桑内をむすぶ道路は、そのころにできた道の一つです。

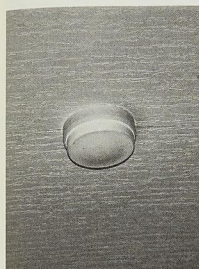
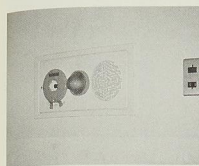
土地のようすがふくざつなため、多くの苦心がありました。人の力がたよりで、山をつるはしてほったり、石を運んできてつんだりしながらつきました。

時代が進むとともに、何度も改修され、最近で

(3) 学校の防火しせつ調べ  
1 火事をふせぐしせつ  
学校には、火事がおきたとき、人がいなくても、それを知らせる小さい感知かち知ちきがあります。それにはけむりにかんじてブザーをならすものや、ねつにかんじてブザーをならすものがあります。

また、火事をはやく見つけた人が、ボタンをおして知らせるための、火さいほうちきなどがあります。また目につきやすいところに赤ランプをつけた消火せんとそれにつないで水をどばせるホースを入れた赤い箱があります。

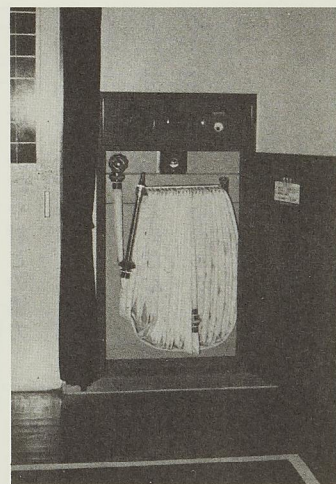
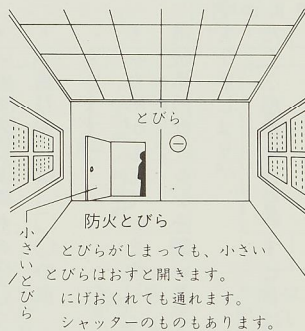
消火きも、おいてあります。



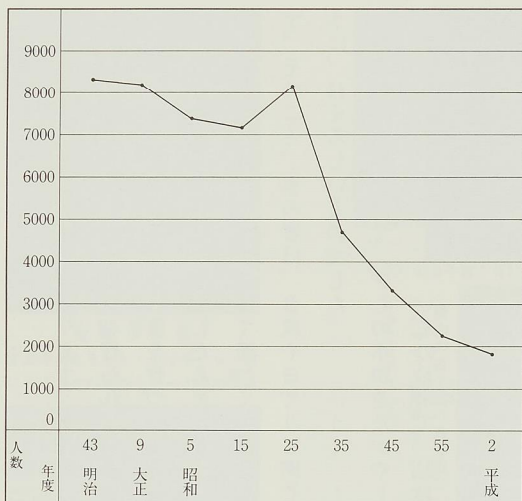
火さいがおきたことを知らせる

#### 2 防火しせつのはいち

どここに、どんな器具きぐがあるか調べてみましょう。



火さいほう知きと消火せんホースも入れてある (東山小)



美郷村の人口の移りかわり (国勢調査より)



うめ畑



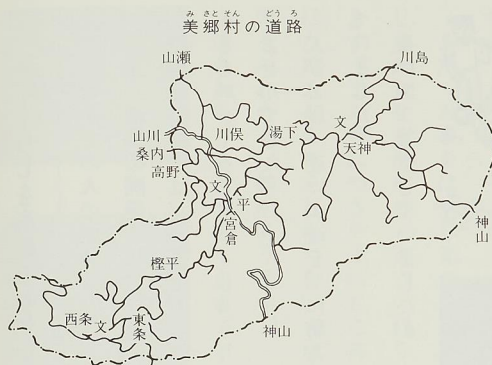
茶畑

人々は、村をたいせつにし、産業の発てんをねがっています。  
 種野小学校の東の方には、山の中腹から頂上にかけて、せいびされた茶畑が続いています。西の方には、山のしや面にそって、うめ畑が広がっています。  
 村では、およそ五〇〇ヘクタールの、このような畑の開発が進められてきました。  
 家々や畑をむすぶ道路や用水路などもつくられてきました。

## 2 国営パイロット事業

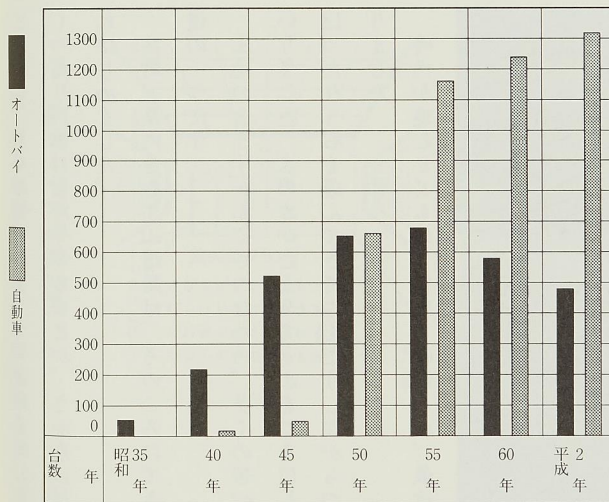
昭和四三年から昭和五九年まで、国営パイロット事業の工事が行なわれました。

農業の開発を進めることで、収入を多くし、農家からはなれていく人びとを、ふせごうとするものです。



昭和のはじめごろバスが通りはじめ、自動車やオートバイを使う家庭もふえてくると、遠くの市や町から、いちどにたくさんの人やに物を運ぶことができるようになりました。  
 目的の地までのおうふくの

は、機械を使い、はばが広く、けいしやもゆるやかなアスファルトやコンクリートの道路に、つくりかえられました。  
 むかしは、に物を運ぶのに、天びんぼうでかついたり、荷車や牛車などを使っていました。  
 昭和のはじめごろバスが通りはじめ、自動車や



美郷村ののりもの台数の移りかわり (村勢要らんより)

時間が短くなり、人々のいききのはんいも広がってきました。  
 交通機関が発達するにつれて、他の市・町・村とのむすびつきが深まってきました。



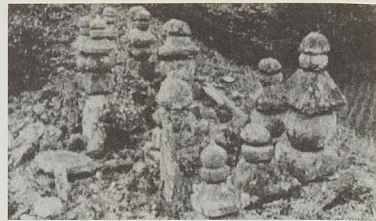
聖観世音像  
重栄寺にある今から800年ぐらい前につくられた高さ1メートルの仏像



河村左馬助のはか  
中枝にある南北朝時代（今から700年前ごろ）の武士のおはか



猪井四郎太夫のはか  
東山にある江戸時代（今から400年前ごろ）の武士のおはか



東山にあるたくさんの五輪塔  
今から600年前ごろにつくられたといわれている。



東山の古土地にある板ひ  
今から七〇〇年前ごろの年号がきざまれている。



中枝にある谷の堂  
たてものの様式が古く、まわりにはたくさんの石造物や板ひがある。



種野山稻荷神社  
かんがい用水やひるのどくよけの神社

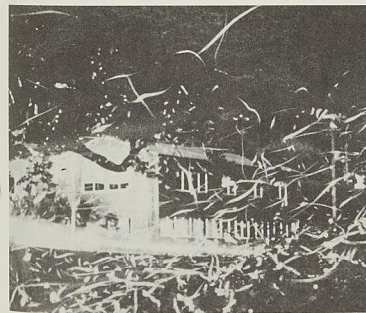
【しりょう】



横山薬師堂

そのお米で、おおぜいの家族が生活していましたが、むかし虫ふうじの行事は、そのような家族にとって、とてもたいせつなものだったので。その他にも、村内

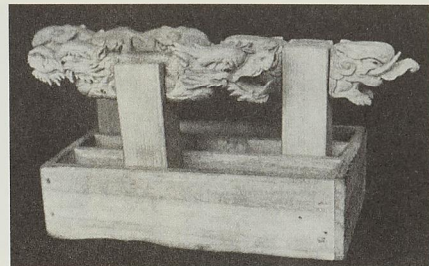
から残されているものや村の自然をたいせつに守る仕事をしてられています。わたしたちの村のいせきや自然をふりかえってみましょう。



源氏ホタルのとび交うようす

(2) いせきと自然を守る  
中村には、横山薬師堂があります。そこでは、むかし、虫ふうじのおいのりが行われていました。人びとは、夏になると、害虫を竹つつに入れてお堂にもちより、おいのりをしたあと、とうげに行ってすて、おどりをおどって帰っていたそうです。そのころ、虫の害は、台風や日でりと同じように、おそろしいものでした。

には、重要なたくさんはいせきや文化がいがあり、その一つ一つに言いつたえなどが残っていて、むかしの村の人びとの生活のようすがわかります。また、緑の山々に囲まれたわたしたちの村には、たくさん自然が残っています。なかでも、すみきった水が流れる川田川や東山川にとびかう源氏ホタルは、国の天然記念物になっています。



龍のもけい  
江戸時代に東山で大工をしていた鎌谷幾右衛門がつくったもけい



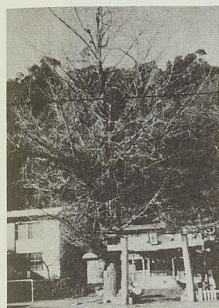
能面  
平入幡神社にある宝町時代(今から六〇〇年前)につくられた木製の能面



檜平にある一本杉  
高さ 26メートル  
太さ 4.8メートル



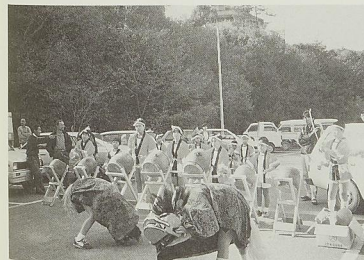
川俣にある道しるべ  
「右つるぎさん、左しゅうさんじ」と書かれている。



中枝平八幡神社境内の  
大いちょう  
高さ 39メートル  
太さ 4.5メートル



まわりおどり  
美郷にむかしから伝わる郷土芸能で、今も  
おこなわれている。



しし太鼓  
東山小学校では伝統芸能であるしし太鼓を  
引きつき秋祭りにおこなっている。

教師と保護者の皆さんへ

一、この副読本編集の趣旨について

小学校・中学年の社会科では、身近な郷土のことからについて、勉強することになっています。しかし、教科書は全国を対象に作られているので、郷土の具体的なことがらについては、郷土資料が必要です。そこで小学校三・四年生の学習指導要領に示された社会科の目標と内容をよりどころとして「わたしたちの村・美郷」を編集しました。

二、副読本使用上の留意点について

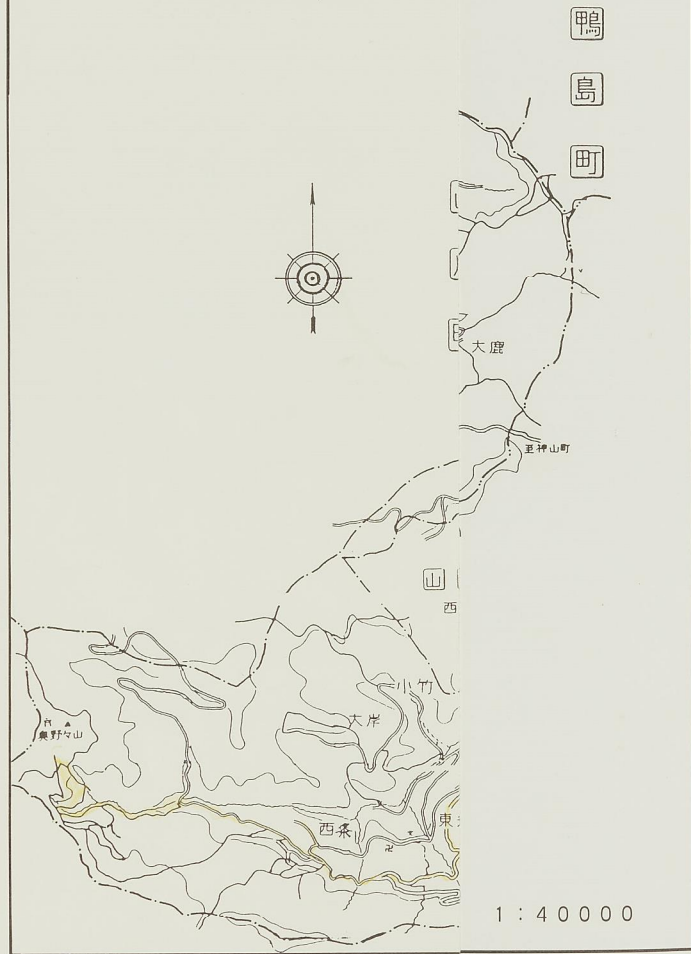
この本は、教科書の編集順序に合わせた郷土資料集です。したがって、教育課程や学習単元の構成に際し、どの資料を、どのように利用するかということについては、十分検討してください。

改訂委員

- |       |      |       |      |    |       |     |     |      |       |    |      |      |
|-------|------|-------|------|----|-------|-----|-----|------|-------|----|------|------|
| 東山小学校 | 平井敬二 | 種野小学校 | 鎌田泰志 | 赤澤 | 宮本智恵子 | 林明彦 | 長尾充 | 山本昌邦 | 川真田容子 | 桑原 | 横石晴美 | 坂東恵昭 |
|-------|------|-------|------|----|-------|-----|-----|------|-------|----|------|------|

昭和五十九年四月一日 発行  
平成三年十二月二日 改訂  
編集 美郷村社会科副読本編集委員会  
発行 美郷村教育委員会  
印刷所 井上印刷  
徳島市佐古四番町八十五  
TEL(公)五三二六三三五

美郷村全図



美郷村全図



1:40000



瀧岡農林  
郡美郷村  
野小學校印

14.4.18



吉野川市立鴨島図書館



41110626926

小学校 年

種野小学校

ワ